



武蔵野市議会議員
深田貴美子

いっぽいっぽ通信

号外版

↑ <http://www.fukadakimiko.info> f www.facebook.com/kimiko.fukada

2019年12月17日 通巻第47号 発行 〇深田貴美子といっぽいっぽの会 〻180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-21-2 グローリオ吉祥寺本町706号



Facebook武蔵野市議会議員深田貴美子にて詳細を報告中!

子どもの安全と教育環境は大丈夫か?! 学校改築問題!



2023年は、大正関東大震災からちょうど100年を迎えます。
今後30年の間に、首都直下型地震の発生確率は、70%——全校改築期間は、およそ24年間です。
最優先にされるべきは、子どもたちの安全と避難所としての市民のみなさんの安全です。

学校施設整備の背景

文科省は、全国の教育委員会に「学校長寿命化計画」(2021年度末提出期限)策定を求め、補助金交付を予定しています。

**問題1 平成19年度の
躯体データを隠蔽!**

市は、平成19年度実施の「コンクリート圧縮強度・中性化の深さ・コンクリートかぶり厚など」の重大な調査データ「学校改築等計画策定支援委託報告書」を隠蔽していました。

実現しました 「要望書」を提出!(深田・品川・下田の連名)
「井之頭小・境南小改築順位繰り上げ実現!」
データの無い新耐震基準(昭和57年以降竣工)の学校躯体調査と財政計画・資金調達の説明を求めました。

問題2 「劣化度総合評価」をしない!

文科省は「市民にわかりやすいデータや評価の数値化等」を求めています。
策定委員の「わかりにくい」との指摘に対し、「重み付けは難しい」との課長答弁がありました。そもそも策定委員会には「建築・構造の学識・専門家」不在です。

**問題3 五中・一中校庭が
4年間使用できない?**

五中には五小、一中には井之頭小の仮設校舎共用するプランです。校庭は確保できるのでしょうか?
改築後、北側校庭になる学校は、「人工芝」導入も検討しています。

6項目の改築問題!

**問題4 改築中のコストは、
「改築コスト>改修コスト」**

コスト比較の折れ線グラフがようやく開示されました。素案に掲載しないのは不誠実です。
教育委員会は、「あえて改築する大義」を明確にする説明責任があります。

**問題5 財政計画・資金調達が
未だ不透明**

本市は、「長寿命化」ではなく、「全校改築」。「長寿命化」の補助金は望めません。
「改築」にあたっては、「危険度判定」の対象外になり、国・都の補助金は期待できません。
教育長は、「世代間公平の観点から、主に市債で」(9月本会議)と答弁しています。

番外

- 五小の雨漏り改修費用補正予算を求めました。
- 校庭埋設の「雨水浸透施設」の大撤去・再整備予算も総工費に必要。
- 市がプレス発表していない改築情報が、業界新聞に掲載?

「東町1丁目平井医院跡地」活用の方行は？

「一体、どうなっているの？」
——こちらもお問合せが続きます。



去年の秋から3回も市民ワークショップがあったのよ

今年の春には、民間事業者からの事業提案(サウンディング市場調査)もあったよ



この事業は、「市」と「民間事業者」が連携して、市の課題を解決し、住民サービスの向上を実現する「公民連携事業」として予算化されています。
東町は、高齢化によりお一人暮らしの方が増えています。
10年20年先の高齢社会を支える機能が必要です。

住み慣れた町で
いつまでも



一方で、心細い思いを
されている声も

在宅介護を支える
ご家族の方々を
お支える機能も必要



ふかだ

「看護付小規模多機能施設」通称「カンタキ」は、安心のお預かりと排泄ケアも丁寧に支えてくれる「在宅介護の力強い応援団」です。
「マギーズ東京」のようながん相談支援や、難病・障がいと共に生きる方々の相談機能「暮らしの保健室」等の機能も併設されると、安心感はもっと増えますね。
吉祥寺エリアは、土地が高いため、民間事業者にとっても拠点が得られない現実があります。
良質かつ必要なサービスを、民間の力を活用し、安心の福祉のまちを実現したいですね。

《民間事業者からの提案》

http://www.city.musashino.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/023/422/kekka.pdf

- 看護小規模多機能型居宅介護サービス
- 障害者グループホームを中心とした複合施設
- 地域密着型特別老人ホーム(サテライト型)
- 老人福祉センター+看護小規模多機能
- 認知症高齢者グループホーム
- 福祉作業所を中心とした複合施設



市場調査の結果概要

吉祥寺医療再生は？

「一体、どうなっているの？」
——ひっきりなしのお問合せです。

去る、9月26日(金)28日(日)に、「吉祥寺地域医療拠点地区まちづくり協議会」による「第2回地区計画説明会」が開催されました。

「南町コミュニティセンター用地」を含めた「用途変更」を求めていくとのこと。

ならば、なおのこと、武蔵野市は、上位計画である「都市計画マスタープラン」に位置付けるべきです。中途半端な「地域医療構想ビジョン2017」を「地域医療計画」に再策定すべきです。近隣自治体では、丁寧な策定をしています。

《練馬区地域医療計画》

https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/shisaku/kenko/tiikiiryoyochiikiiryokeikaku.files/00_zentai.pdf



練馬区
地域医療計画

マギーズ東京に学ぶ

がんサポート拠点を武蔵野に

9月23日(月・祝)東コミュニティセンターの「九浦の家 つどい」にて、「がんサポート拠点について学ぶ」を開催。毎月、学習会を、武蔵野赤十字病院と連携して開催中です。

九浦の家 つどい
がんサポート拠点
について学ぶ
2人に1人ががんになる時代、
がん治療の最新の情報や知識、地域な
らではの学びを共有したいと思います。

第1部 NPO法人「マギーズ東京」
看護部 岩城典子さん
第2部 「マギーズ東京」に学ぶ
がんサポート拠点を武蔵野に、

9月23日(月・祝)13時～
会場：吉祥寺東コミュニティセンター
九浦の家 電話 0422-21-4141

「むさしの地域つながる会」スタートです！

武蔵野市内市立中学校を卒業した高校生たちが、地域のためにとボランティア活動を立ち上げました。夏休みの台風19号後の10月13日、ごみ拾い、清掃活動を実施しました。頼もしいかぎりですね。



WEBはこちらから

